

大学コンソーシアム富山 令和4年度地域課題解決事業申請書

(**新規** ・ **継続**)

自治体等名	高岡市	担当者	所属 福祉保健部高齢介護課 氏名 澤田 栄里子 TEL 0766-20-1165 E-mail kaigo@city.takaoka.lg.jp
地域課題名	健康づくりや介護予防活動に積極的に参加するしくみづくり	事業費	500 千円
地域課題の背景	本市では、高齢者の閉じこもり予防と身体機能向上のため、平成27年度から「通いの場」づくりに取り組んでいる。立ち上げ会場数は増加し、令和3年3月まで現在では市内に78か所であるが、活動の担い手や協力者不足等の理由から、取り組みにつながらない地域もあるという課題がある。一方で「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」によると、「住民有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動の企画・運営者として参加したい又は参加してもよい」と回答した市民は、30.4%（前回26.8%）に増加している。		
課題の概要	<p>(1)課題＝解決したい問題の説明、(2)その課題解決において自治体が行うこと、(3)高等教育機関に求めたいこと、<u>についてできるだけ具体的に記入願います</u>)</p> <p>(1)これまで健康に興味はあるが、きっかけがなく活動できずにいる方が、通いの場に参加したり、担い手や協力者として活動してもらえるようなインセンティブを付与するしくみを創設したい。</p> <p>(2)インセンティブ付与の対象事業の選定（例：通いの場、ボランティア活動など）</p> <p>(3)協力事業者の募集や、利用促進のノウハウ、原資の確保の仕方、インセンティブを付与する仕組みを維持・管理するシステムの構築・運用へのアドバイス</p>		
事業実施に当たっての協働体制	<p>【自治体等の役割】</p> <p>インセンティブ付与の対象事業の選定</p> <p>【高等教育機関の役割】</p> <p>仕組みの創設のためのアドバイス、伴走支援</p>		
成果の活用方法	健康への無関心層や、興味はあるが行動に移せずにいた層が、インセンティブ付与の仕組みをきっかけに健康づくりや介護予防の活動に参加する。また、これまで活動に参加していた方も、意欲的に継続して活動に参加できる。		

【作成上の注意】

- 「事業費」欄は、高等教育機関に対し支出する金額を記入願います。
(自治体等からの事業費が、本事業実施経費の全額となります。)
- 課題に関する詳細資料（秘密事項は除く）がある場合は、添付願います。
- 課題が複数ある場合は、別様に記載願います。
- 申請書は1ページに収める必要はありません。できるだけ具体的に記入願います。